



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019 年第 26 週 (6/24~30) 【概要版】

2019 年 7 月 4 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 例年、夏季に子どもを中心に増加する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)が、増加しています。手足口病は県内全域に**警報**発令中かつ 6 か所の保健所管内で増加しました。ヘルパンギーナも全県で先週と比べて増加しました。咽頭結膜熱は、過去 5 年の同時期と比べて非常に多い状態で推移しています。
- 伝染性紅斑は県内全域に**警報**が発令されました。特に、大津市および甲賀保健所管内で警報発令基準値を超過しています。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (1)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
手足口病	3.09	7.41	10.41	警	○		警	警	警	警	↑	警	警
感染性胃腸炎	5.59	4.13	3.75				多	↑	↑	多	多	多	↑
ヘルパンギーナ	1.00	1.66	2.31					多	↑				警
伝染性紅斑	0.53	1.53	1.63	警	○		警	多	警		↑		↑
咽頭結膜熱	1.25	1.38	1.41		○	○	↑	警		多			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.69	1.03				多	多		多			

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
手足口病	5.18	7.41	<u>9.15</u>	<u>9.66</u>	<u>15.26</u>	1.51	<u>10.00</u>
感染性胃腸炎	<u>5.40</u>	4.13	<u>5.51</u>	<u>4.94</u>	<u>5.65</u>	3.75	<u>5.44</u>
ヘルパンギーナ	1.19	1.66	<u>1.78</u>	1.57	<u>3.35</u>	0.42	<u>2.67</u>
伝染性紅斑	0.93	1.53	1.18	1.36	0.70	0.98	0.69
咽頭結膜熱	0.68	1.38	0.73	0.52	1.22	0.43	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.57</u>	1.69	<u>2.59</u>	<u>1.86</u>	<u>3.57</u>	1.36	<u>2.49</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	3	6	6	○	○	2		1	1		2	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	1	○					1			
四類	レジオネラ症	0	0	2						1			1
五類	後天性免疫不全症候群	1	0	1	○		1						
五類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	1							1		
五類	梅毒	0	1	2	○	○	1			1			
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	0	1				1					
五類	百日咳	0	0	1	-	-						1	
五類	風しん	1	0	1	○	○	1						

- 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- 警; 警報発令、注; 注意報発令
- 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)、百日咳は 2018 年より全数把握とされているため、本標記対象から除外
- 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019年第26週(6/24~30)【詳細版】

2019年7月4日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 例年、夏季に子どもを中心に増加する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)が、増加しています。手足口病は県内全域に警報発令中かつ6か所の保健所管内で増加しました。ヘルパンギーナも全県では先週と比べて増加しました。咽頭結膜熱は、過去5年の同時期と比べて非常に多い状態で推移しています。
- (2) 伝染性紅斑は県内全域に警報が発令されました特に、大津市および甲賀保健所管内で警報発令基準値を超過しています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島		警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	0.32	0.55	0.49		○	○	0.36	0	0	1.75	0	0	2.67	0.20	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.13	0.22	0.28		○	○	0	0.17	0	1.00	0	0	1.50	0.29	—	—	—
	咽頭結膜熱	1.25	1.38	1.41		○	○	1.14	3.33	0.50	2.80	0.25	0	0	0.68	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.69	1.03				1.29	1.17	0.50	2.00	0.50	0.75	0	2.57	8	4	—
	感染性胃腸炎	5.59	4.13	3.75				4.86	2.83	2.50	4.40	4.25	4.25	1.50	5.40	20	12	—
	水痘	0.31	0.19	0.25				0.14	0	0.50	0.40	0.25	0.50	0	0.37	2	1	1
	手足口病	3.09	7.41	10.41	警	○		7.29	12.33	18.50	15.80	4.50	6.75	5.00	5.18	5	2	—
	伝染性紅斑	0.53	1.53	1.63	警	○		2.86	2.00	2.25	1.40	0.25	0	1.50	0.93	2	1	—
	突発性発しん	0.16	0.31	0.16				0.29	0	0.25	0.20	0	0.25	0	0.49	—	—	—
	ヘルパンギーナ	1.00	1.66	2.31				1.43	3.83	0.50	0.80	0.50	0.50	15.50	1.19	6	2	—
小児科 (定点数:32)	流行性耳下腺炎	0.13	0.06	0.13				0.14	0	0	0.20	0.25	0.25	0	0.13	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.25	0.13	0.25		○		0	0	1.00	1.00	0	0	0	0.68	8	4	—
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.29	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0.14		○		0	1.00	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14		○		0	0	0	1.00	0	0	0	0.14	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.57	0.14	0.43		○	○	3.00	0	0	0	0	0	0	0.22	—	—	—
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0.14		○	○	1.00	0	0	0	0	0	0	0.04	—	—	—

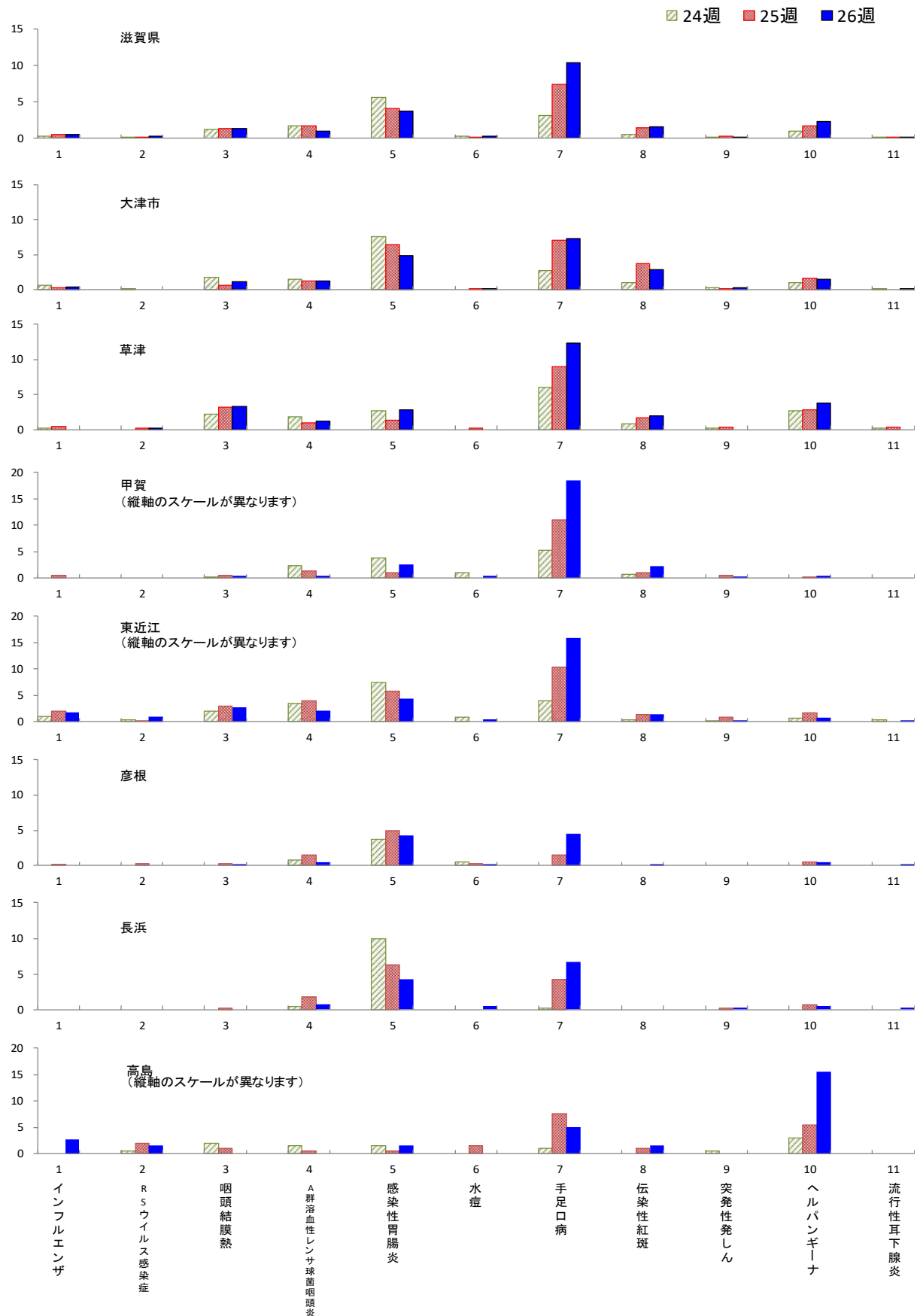
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv 赤字斜字:警報開始基準値を超過、紫字斜字:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸; 定点当たり報告数)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	26	-	-	1	1	-	2	4	6	5	-	1	1	1	-	2	-	-	-	1	1
大津市保健所	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	14	-	-	1	-	-	2	4	1	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	8	-	-	-	1	-	-	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

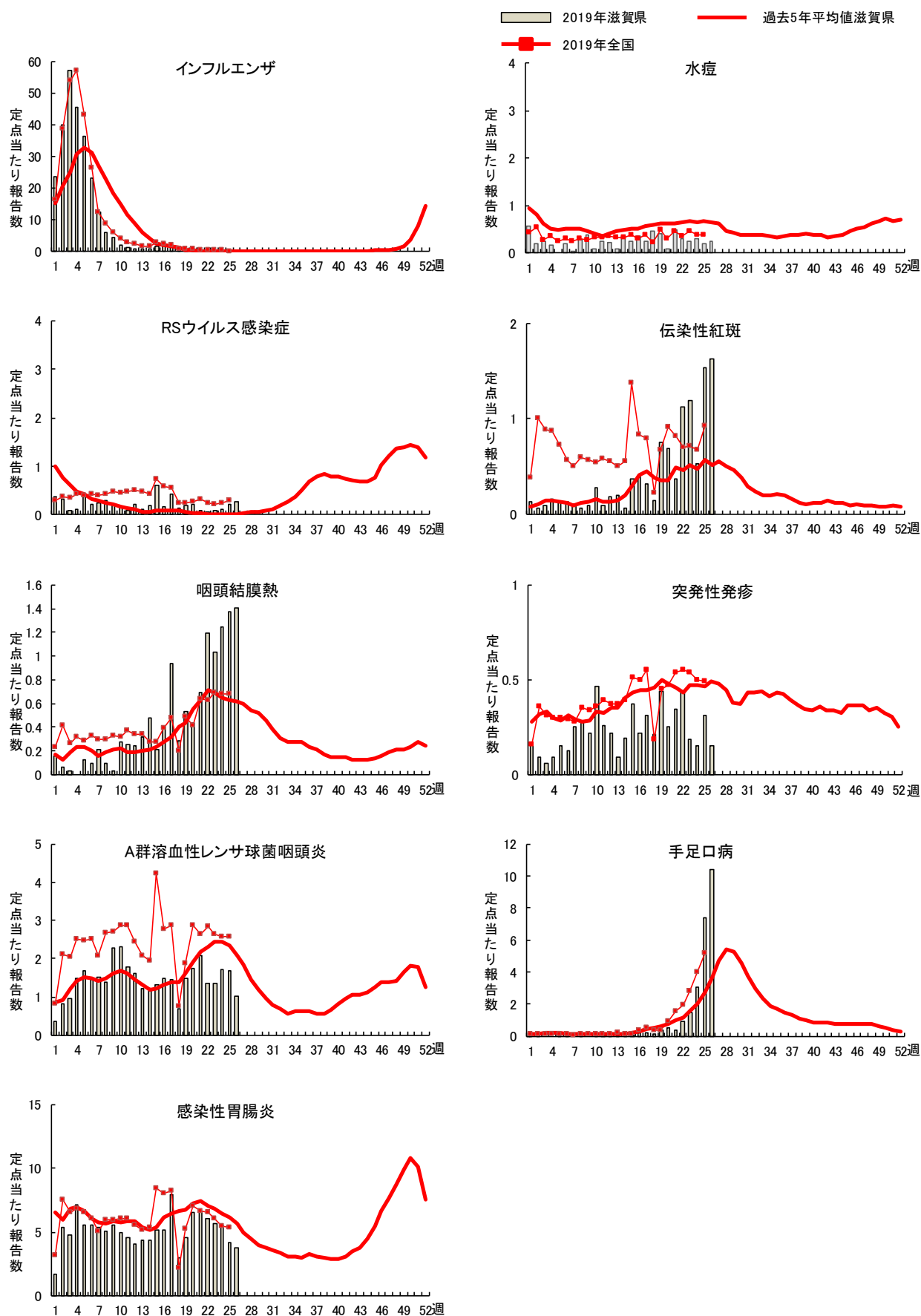
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	9	2	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	45	1	4	6	8	7	14	2	2	-	-	1	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	33	-	-	-	-	4	8	9	7	3	2	-	-	-	-
感染性胃腸炎	120	-	8	26	13	12	9	2	17	9	13	4	3	-	4
水痘	8	-	-	2	-	1	1	-	-	2	1	-	1	-	-
手足口病	333	5	46	147	62	40	16	6	4	5	-	1	-	-	1
伝染性紅斑 (リンゴ病)	52	1	-	3	6	7	9	4	5	5	6	3	2	-	1
突発性発しん	5	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	74	1	10	25	14	8	5	3	3	1	2	-	2	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1

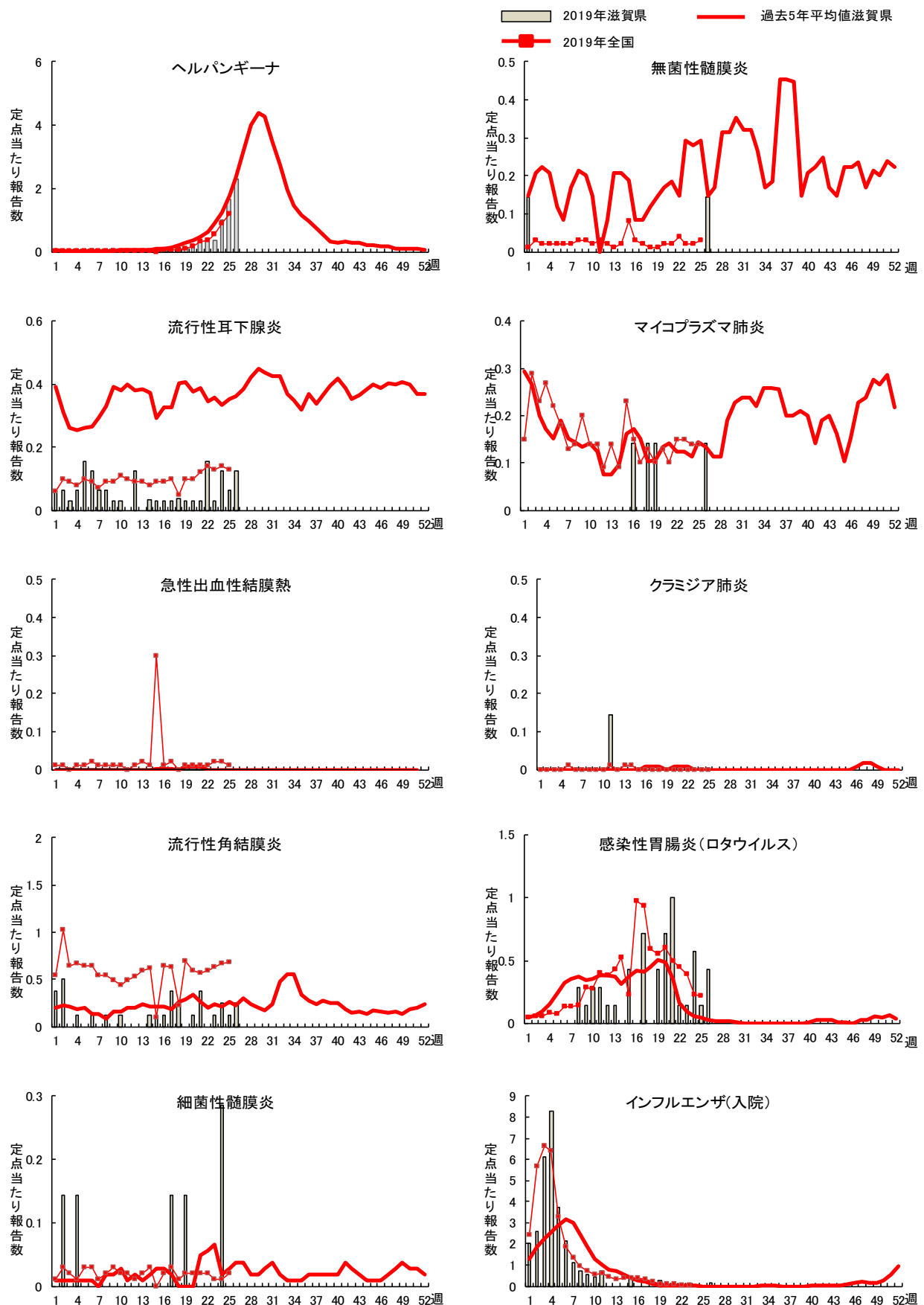
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	26	大津市	60歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-
	結核	26	大津市	10歳代	女	無症状病原体保有者	大津市保健所管内	-
	結核	26	甲賀	80歳代	女	肺結核	-	-
	結核	26	東近江	80歳代	女	粟粒結核	県内	-
	結核	26	長浜	70歳代	男	肺結核	長浜保健所管内	-
	結核	26	長浜	20歳代	男	肺結核および大腸結核	長浜保健所管内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	26	東近江	30歳代	女	-	-	血清群不明VT2
四類	レジオネラ症	26	東近江	80歳代	女	肺炎型	東近江保健所管内	-
	レジオネラ症	26	高島	60歳代	男	肺炎型	高島保健所管内	-
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26	草津	70歳代	男	-	草津保健所管内	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	25	長浜	90歳代	男	-	長浜保健所管内	G群
	後天性免疫不全症候群	26	大津市	20歳代	女	AIDS	国外	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	26	彦根	10歳未満	男	-	彦根保健所管内	ワクチン接種歴4回
	梅毒	26	大津市	50歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	国外	異性間性的接触
	梅毒	26	東近江	10歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	東近江保健所管内	異性間性的接触
	百日咳	25	甲賀	10歳未満	男	-	甲賀保健所管内	ワクチン1回接種
	百日咳	26	長浜	10歳未満	女	-	-	DPT-IPV 4回接種
	風しん	26	大津市	30歳代	男	検査診断例	大津市保健所管内	ワクチン接種歴無

注目すべき感染症

1. 妊娠している方へ麻疹（はしか）の流行についてのご注意（公益社団法人日本産婦人科医会）
<http://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/190225measles.pdf>
2. 風疹急増に関する緊急情報（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/8278-rubella1808.html>
3. 手足口病
 (1) 手足口病とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>
 (2) Q&A(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>
4. ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>
5. 咽頭結膜熱とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/adeno-pfc.html>
6. 伝染性紅斑（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2019 年、全国は前週までの値) vi,vii

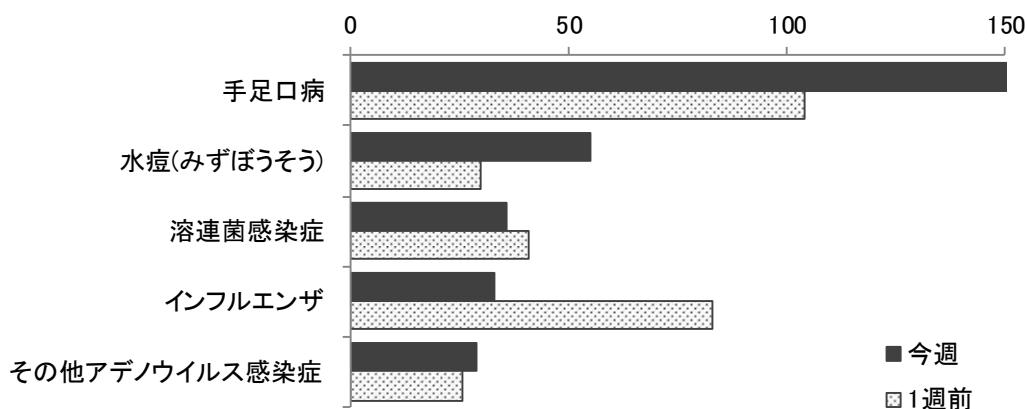
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○	○	141 9.98	62 18.17	21 6.19	13 9.01	17 7.44	12 7.69	13 8.40	3 6.17	9942 7.83	235 16.63	21850 17.21
三類 細菌性赤痢			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	44 0.03	2 0.14	268 0.21
腸管出血性大腸菌感染症	○		12 0.85	2 0.59	4 1.18	1 0.69	2 0.87	1 0.64	1 0.65	1 2.06	856 0.68	30 2.12	3844 3.03
四類 E型肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	245 0.19	2 0.14	442 0.35
A型肝炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	235 0.19	1 0.07	925 0.73
重症熱性 血小板減少症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	37 0.03	0 0	77 0.06
チクングニア熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0.00	0 0	4 0.00
つつが虫病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	77 0.06	1 0.07	455 0.36
デング熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	141 0.11	0 0	201 0.16
日本紅斑熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	62 0.05	0 0	303 0.24
レジオネラ症			9 0.64	0 0	1 0.29	0 0	2 0.87	2 1.28	3 1.94	1 2.06	763 0.60	33 2.34	2130 1.68
五類 アメーバ赤痢	○		4 0.28	3 0.88	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	412 0.32	5 0.35	838 0.66
ウイルス性肝炎	○		2 0.14	2 0.59	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	150 0.12	1 0.07	269 0.21
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			2 0.14	0 0	2 0.59	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	912 0.72	11 0.78	2253 1.77
急性弛緩性麻痺	-	-	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	35 0.03	1 0.07	139 0.11
急性脳炎			1 0.07	0 0	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	480 0.38	4 0.28	657 0.52
クリプトスポリジウム症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 0.01	0 0	25 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病			1 0.07	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.65	0 0	86 0.07	6 0.42	219 0.17
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		8 0.57	1 0.29	1 0.29	1 0.69	3 1.31	0 0	2 1.29	0 0	447 0.35	10 0.71	687 0.54
後天性免疫不全症候群	○		5 0.35	3 0.88	0 0	0 0	1 0.44	1 0.64	0 0	0 0	554 0.44	10 0.71	1292 1.02
ジアルジア症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	22 0.02	0 0.00	68 0.05
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○	○	7 0.50	1 0.29	2 0.59	0 0	3 1.31	1 0.64	0 0	0 0	300 0.24	7 0.50	483 0.38
侵襲性髄膜炎菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	22 0.02	0 0	37 0.03
侵襲性肺炎球菌感染症			18 1.27	5 1.47	3 0.88	3 2.08	4 1.75	2 1.28	1 0.65	0 0	1951 1.54	41 2.90	3299 2.60
水痘(入院例)			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	232 0.18	5 0.35	461 0.36
先天性風しん症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0
梅毒	○	○	21 1.49	9 2.64	2 0.59	2 1.39	7 3.06	0 0	1 0.65	0 0	3105 2.45	24 1.70	6923 5.45
播種性クリプトコックス症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	68 0.05	2 0.14	178 0.14
破傷風			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	50 0.04	0 0	130 0.10
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	37 0.03	2 0.14	79 0.06
百日咳	-	-	70 4.95	45 13.19	4 1.18	6 4.16	3 1.31	3 1.92	4 2.58	5 10.28	7679 6.05	141 9.98	11947 9.41
風しん	○	○	7 0.50	3 0.88	2 0.59	1 0.69	1 0.44	0 0	0 0	0 0	1848 1.46	12 0.85	2917 2.30
麻疹	○	○	8 0.57	1 0.29	3 0.88	1 0.69	0 0	0 0	3 1.94	0 0	638 0.50	1 0.07	282 0.22
薬剤耐性 アシネトバクター感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 0.01	0 0	24 0.02

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php) へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

**【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。**

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/300857.html>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

